



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月2日

上場会社名 東邦ホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8129 URL <http://www.tohohd.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)濱田 矩男
 問合せ先責任者 (役職名)取締役財務部長 (氏名)荻野 守 (TEL)03-3419-7893
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	877,782	△2.3	7,900	△24.3	12,371	△18.1	10,997	20.4
26年3月期第3四半期	898,889	4.2	10,432	22.2	15,102	15.7	9,134	16.3

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 12,045百万円(26.7%) 26年3月期第3四半期 9,508百万円(11.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	146.03	145.89
26年3月期第3四半期	122.95	122.92

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	635,188	155,092	24.4
26年3月期	580,137	147,190	25.4

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 155,054百万円 26年3月期 147,162百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
27年3月期	—	12.00	—		
27年3月期(予想)				12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

27年3月期第2四半期配当金の内訳 記念配当 2円00銭 普通配当 10円00銭

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,161,000	△2.4	8,900	△27.8	14,500	△20.8	11,700	12.4	157.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 — 社 (社名) 、除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

詳細は添付資料3ページ「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

27年3月期3Q	78,270,142株	26年3月期	78,270,142株
27年3月期3Q	4,433,304株	26年3月期	2,881,129株
27年3月期3Q	75,306,403株	26年3月期3Q	74,293,064株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期の医療用医薬品市場は、平成26年4月に診療報酬と薬価の改定があり、薬価の引下げとジェネリック医薬品の使用が一層促進されたことにより、引き続き長期収載品の売上が落ち込み、前期比2.9%（クレコンリサーチ&コンサルティング株式会社推計）のマイナスとなりました。

このような市場環境のもと、当社は医薬品卸売事業において、これまで以上に適正利益の管理を徹底するとともに、付加価値サービス型モデルへの変革に向けたフィービジネスによる利益の確保に注力いたしました。また、事業の効率化に向けた物流センターやコールセンターを活用した営業と物流の一体改革による経費削減策を徹底いたしました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高877,782百万円（前年同期比2.3%減）、営業利益は7,900百万円（前年同期比24.3%減）、経常利益は12,371百万円（前年同期比18.1%減）、四半期純利益は10,997百万円（前年同期比20.4%増）となりました。

なお、財務基盤の強化を図るため、平成26年12月、「転換社債型新株予約権付社債」150億円を発行し、同時に約120億円の自己株式を取得することにいたしました。これに基づき、同月より自己株式の取得を開始し、資本効率の改善に努めております。

セグメントの業績の概略は以下のとおりです。

医薬品卸売事業では当社独自の顧客支援システムを基軸とした提案型の営業活動を評価いただくことで医療機関との関係強化を図りました。また、売上高が前年同期比マイナスとなる中で、カテゴリー別の価格管理の体制を強化するとともに、付加価値サービス型モデルへの変革に向けたフィービジネスによる利益を追求することで売上総利益の確保に取り組みました。

その結果、売上高は839,891百万円（前年同期比2.9%減）、セグメント利益（営業利益）は7,575百万円（前年同期比18.3%減）となりました。

調剤薬局事業においては、調剤報酬の改定に対応した店舗運営による収益性改善策と店舗業務の標準化や本部への業務集約等による経費削減策に取り組み、当第3四半期連結累計期間の売上高は68,664百万円（前年同期比6.9%増）、セグメント利益（営業利益）は458百万円（前年同期比55.6%減）となりました。

治験施設支援事業におきましては、当第3四半期連結累計期間の売上高は241百万円（前年同期比38.1%減）、セグメント利益（営業利益）は86百万円、情報機器販売事業におきましては、当第3四半期連結累計期間の売上高は908百万円（前年同期比13.9%減）、セグメント損失（営業損失）は127百万円となりました。

（注）セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高を含んでおります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて14.1%増加し、474,112百万円となりました。これは、現金及び預金が42,108百万円、受取手形及び売掛金が16,671百万円それぞれ増加したこと等によります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて2.2%減少し、161,075百万円となりました。これは、有形固定資産が1,016百万円、のれんが855百万円、投資その他の資産が1,643百万円それぞれ減少したこと等によります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて9.5%増加し、635,188百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて9.6%増加し、427,937百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が39,061百万円増加し、短期借入金が4,472百万円減少したこと等によります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて22.3%増加し、52,158百万円となりました。これは、社債が15,075百万円増加し、長期借入金が2,879百万円減少したこと等によります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて10.9%増加し、480,096百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて5.4%増加し、155,092百万円となりました。これは、利益剰余金が9,408百万円、自己株式が2,524百万円それぞれ増加したこと等によります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年11月6日発表の平成27年3月期の通期連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務の計算方法を見直し、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数とする方法から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が43百万円増加し、利益剰余金が28百万円減少しております。また、当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,362	60,471
受取手形及び売掛金	281,742	298,413
有価証券	502	502
商品及び製品	81,424	77,015
その他	34,046	38,251
貸倒引当金	△649	△542
流動資産合計	415,429	474,112
固定資産		
有形固定資産	85,574	84,557
無形固定資産		
のれん	10,590	9,734
その他	3,419	3,302
無形固定資産合計	14,009	13,036
投資その他の資産		
その他	66,770	65,239
貸倒引当金	△1,644	△1,757
投資その他の資産合計	65,125	63,482
固定資産合計	164,708	161,075
資産合計	580,137	635,188

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	361,976	401,038
短期借入金	12,200	7,727
未払法人税等	3,285	4,333
賞与引当金	3,562	1,732
役員賞与引当金	80	58
返品調整引当金	302	354
資産除去債務	45	-
その他	8,845	12,692
流動負債合計	390,299	427,937
固定負債		
社債	-	15,075
長期借入金	12,308	9,429
厚生年金基金解散損失引当金	-	170
退職給付に係る負債	1,527	1,639
資産除去債務	1,080	1,079
負ののれん	464	109
その他	27,267	24,656
固定負債合計	42,647	52,158
負債合計	432,947	480,096
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,649	10,649
資本剰余金	47,814	47,814
利益剰余金	83,898	93,307
自己株式	△3,437	△5,961
株主資本合計	138,926	145,810
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,547	13,595
土地再評価差額金	△4,311	△4,351
その他の包括利益累計額合計	8,236	9,243
新株予約権	28	37
純資産合計	147,190	155,092
負債純資産合計	580,137	635,188

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	898,889	877,782
売上原価	819,305	797,273
売上総利益	79,584	80,508
販売費及び一般管理費		
役員報酬及び給料手当	35,469	35,599
賞与引当金繰入額	2,017	1,727
役員賞与引当金繰入額	81	58
退職給付引当金繰入額	170	-
退職給付費用	-	157
福利厚生費	5,879	5,944
車両費	1,196	1,176
貸倒引当金繰入額	△102	△58
減価償却費	2,495	3,515
のれん償却額	1,789	1,899
賃借料	5,277	5,278
租税公課	888	941
仮払消費税の未控除費用	2,303	3,817
その他	11,684	12,548
販売費及び一般管理費合計	69,152	72,608
営業利益	10,432	7,900
営業外収益		
受取利息	56	31
受取配当金	1,026	1,148
受取手数料	2,244	2,183
負ののれん償却額	582	355
持分法による投資利益	59	16
その他	1,607	1,612
営業外収益合計	5,576	5,347
営業外費用		
支払利息	311	254
不動産賃貸費用	400	444
その他	193	177
営業外費用合計	905	876
経常利益	15,102	12,371

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
特別利益		
固定資産売却益	351	59
投資有価証券売却益	0	6,207
その他	31	113
特別利益合計	383	6,380
特別損失		
固定資産処分損	264	164
減損損失	-	260
厚生年金基金解散損失引当金繰入額	-	170
その他	15	31
特別損失合計	279	626
税金等調整前四半期純利益	15,206	18,124
法人税、住民税及び事業税	4,899	8,255
法人税等調整額	1,172	△1,127
法人税等合計	6,072	7,127
少数株主損益調整前四半期純利益	9,134	10,997
四半期純利益	9,134	10,997

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	9,134	10,997
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	374	1,014
持分法適用会社に対する持分相当額	0	33
その他の包括利益合計	374	1,048
四半期包括利益	9,508	12,045
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,508	12,045
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					調整額 (百万円) (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円) (注2)
	医薬品 卸売事業 (百万円)	調剤薬局 事業 (百万円)	治験施設 支援事業 (百万円)	情報機器 販売事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	833,486	64,199	389	813	898,889	—	898,889
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	31,292	15	—	242	31,549	△31,549	—
計	864,778	64,214	389	1,055	930,439	△31,549	898,889
セグメント利益又は損失(△)	9,269	1,032	235	△17	10,519	△87	10,432

(注) 1. 調整額は、内部取引の消去と未実現利益の消去によるものであります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					調整額 (百万円) (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円) (注2)
	医薬品 卸売事業 (百万円)	調剤薬局 事業 (百万円)	治験施設 支援事業 (百万円)	情報機器 販売事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	808,185	68,628	241	727	877,782	—	877,782
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	31,705	36	—	181	31,924	△31,924	—
計	839,891	68,664	241	908	909,706	△31,924	877,782
セグメント利益又は損失(△)	7,575	458	86	△127	7,994	△94	7,900

(注) 1. 調整額は、内部取引の消去と未実現利益の消去によるものであります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。